


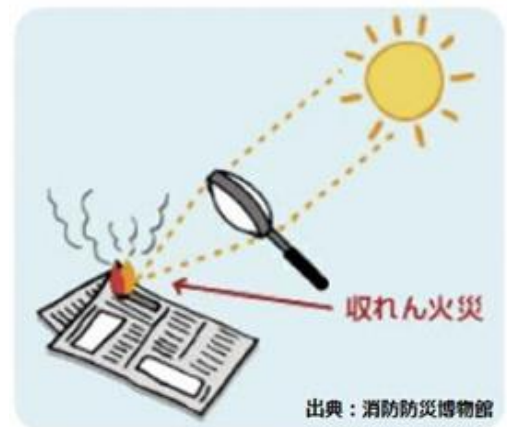
壬生町消防団通信 	纏 ま と い		発行 NO, 14 令和 6年 2月
	記事 ペットボトル、鏡が原因 収れん火災	特集 冬の風景 「ひなたぼっこ」	壬生町役場総務課 消防防災係発行(不定)
			お問い合わせ 81-1808

しゅう かさい
収れん火災

冬型の気圧配置によって太平洋側では特に空気の乾燥した日が続きます。

火災への十分な備えが必要とされる中、近年「収れん火災」の発生件数が増え、総務省消防庁や各地の消防署などで注意が呼び掛けています。

冬場に発生しやすいとされる「収れん火災」とはどのようなものなのか、どうすれば予防できるのかまとめてみました。



(太陽光が一点に集まり熱が蓄積)

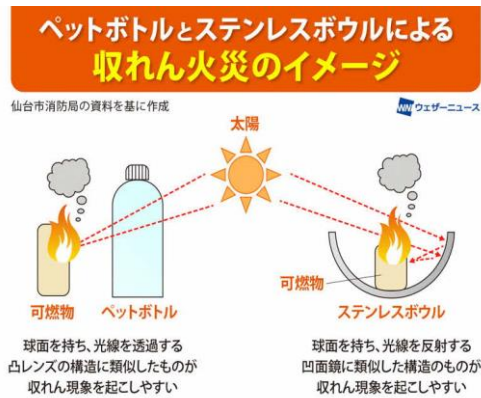
「収れん」とは「光を一点に集める」という意味の言葉で、小学校の理科の実験のときに経験した、「虫めがねで太陽光を一点に集めたら新聞紙が焦げた」という現象がその一例です。また、太陽光が凹（おう）面鏡に当たり反射して一点に集まるものも収れん現象の一つです。

この収れん現象によって起きる火災を「収れん火災」と呼んでいます。

冬場に収れん火災が起きやすい理由は、太陽の高度が低くなって太陽光が部屋の奥まで差し込むようになるからです。もちろん日差しが強くなる夏場にも発生する可能性があります。

東京消防庁管内では過去10年間に、収れん火災は44件で、出火時間帯は10時台から15時台が多く、日が傾いている10時台と日差しの強い13時台が最も多く発生しています。

《鏡やレンズ、ペットボトルも要注意》



収れん現象を引き起こす物体は、鏡やルーペなどレンズ状のものばかりではありません。

ガラス玉や風水ボール（水晶玉）、スノードームといった透明球や置時計、照明器具など多岐にわたります。

その他ステンレスボールやガラス瓶、ステンレス製のごみ箱や金魚鉢など、家庭内に普通に置かれているものも発火源となっていました。

「猫よけ」のために庭先や路上などに置かれた水を入れたペットボトルも要注意です。

ミネラルウォーターが入ったままのペットボトルを自動車の車内に放置して、収れん火災に至った例も報告されています。

収れん火災は太陽の位置や気象条件、物体の向きや可燃物の位置などの条件がすべて重なったとき、思いもよらない形で発生してしまいます。

収れん火災を防ぐには

収れん火災を防ぐために、室内の太陽光が差し込む場所に凹（おう）面鏡やルーペなどのほか、レンズの役目を果たす可能性がある球体などを置かないよう、注意が必要です。

また、昼間に長時間外出する場合は必ずカーテンを閉めるようにするなど、太陽光を直接室内に入れないことも大切です。

さらに室外では、建物や可燃物の近くにペットボトルや光の反射するホイールキャップなどを置かないよう注意してください。

特に空気が乾燥する冬場は、いったん可燃物が発火すると、火元が小さくても一気に燃え広がる危険性が高まります。家の内外にある収れん火災の原因になりそうなものなどの置き場所に気を配り、火災の予防に努めましょう。

冬の「ひなたぼっこ」



2月の晴天時、日当たりのよい縁側などで「ひなたぼっこ」をすると気持ち良いものです。冬の良いところは、お日様が部屋の中まで入り込んで来てくれること。その日差しと温もりに包まれ、お茶でも飲みながら、本を読んだり、会話を楽しんだりするのは至福のひと時とも言えるでしょう。

同じように、太陽に当たる行為として、「日光浴」があります。はてな？と考えました。「ひなたぼっこ」と「日光浴」一体何が違うんだろう？そこで両者の違いを比較検討してみました。

ただし、あくまでも独断と偏見によるものです。

- (1) 冬にするのが「ひなたぼっこ」、夏にするのが「日光浴」
- (2) 厚着でするのが「ひなたぼっこ」、水着でするのが「日光浴」
- (3) 屋内の窓際でするのが「ひなたぼっこ」、海の水際でするのが「日光浴」
- (4) 温まるのが「ひなたぼっこ」、焼くのが「日光浴」
- (5) ミカンの皮をむいて食べるのが楽しいのが「ひなたぼっこ」
自分の皮をむいて捨てるのがつらいのが「日光浴」
- (6) 家で猫がするのが「ひなたぼっこ」、
世界最大のトカゲ、コモドドラゴンがするのが「日光浴」



うーん、当たらずとも遠からず、と言いたいところでしょうか。

私は、家で「窓際族」お尻と背中をあぶって、あったか「ひなたぼっこ」をしています。
(笑い、ワハッハ)

★ 我が町の消防団 ★

【のび焼きの警戒】

壬生町消防団は、毎年各自治会の要請でのび焼きの警戒に当たっています。

のび焼きは、春の農作業前に畦畔焼きを行い草むらの害虫駆除を目的に行われ、消防団はのび焼きの火が他に広がらないように放水等で、警戒に当たっています。



★ 消防団通常点検 ★

壬生町消防団は、毎年11月に消防団通常点検を実施しています。

昨年度までは、しののめ公園多目的広場で行っていましたが、今回は点検会場を壬生町総合運動場グラウンドに移し、また分列行進を役場駐車場で行いました。

点検には、栃木県知事福田富一様、衆議院議員佐藤勉様、栃木県議会議長佐藤良様、また近隣の消防長、消防団長等多くの来賓者をお迎えし、規律訓練や放水訓練が行われ、規律厳正にして士気旺盛な壬生町消防団を披露しました。

また、分列行進が始まる前に、くにや幼稚園児によるマーチング演奏や、カラーガードによる演技やディズニーの曲を披露していただき、来賓者や消防関係者、見学者から盛大な拍手があり、にこやかな雰囲気の中、一転して厳正な消防団員の分列行進がスタートしました

通常点検終了後には、役場駐車場で消防フェアが行われ、多くの子供や家族が訪れ消防車両の前で記念撮影が行われ、また消防自動車の放水体験には、多くの子供たちが参加し未来の消防団員になったようでした。

会場では、コストコ壬生倉庫店から子供たちや参加者にお菓子などのプレゼントがあり、大変にぎやかな通常点検及び消防フェアとなりました。



栃木県知事福田富一様を迎えての点検



戸崎団長を先頭に分列行進開始



分列行進の先導をくにや幼稚園児の演奏で始まりました。幼稚園児の演奏が一生懸命でとても可愛かったです。



未来の消防団員
(放水体験)



コストコ壬生倉庫店
(お菓子とチョコレート配布)

消防団サポート事業 (消防団員応援の店)



現在、消防団員応援の店に登録しているお店は 25 件ですが、今後さらに協力店が増えるよう、団員の皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

また、団員皆様の応援の店のご利用をお願いいたします。

団員皆様が利用することで、地域活性化になりより多くのお店に制度が広がります。

(現在までの登録店) 25 店舗 (R5.8 現在)

蕎麦吉本店	居酒屋 まし田	さえぐさ飯店	フォーシーズンズ壬生
らーめん処 鈴乃屋	(有) 愛輪 (整備)	清 華 楼	あいケアステーション
河野辺昼店	一 心 亭	田舎菓子処 増田屋	中川正二商店
ダンディ・ライアン	時遊館 ナカザト	ほしいも王国戸崎農園	農家そば処 蕎香
お茶とお惣菜のパオ	ストロベリーファーム	割烹 山水亭	ダイニング ポン太
ホルモン屋 壺亭	マミーポットみぶ	(株) 壬生自動車学校	ときめきステーション
ケンズ バー			

各お店のサポート内容は、ホームページをご覧ください。

(登録方法)

壬生町消防団サポート事業所登録申請書に、必要事項をご記入のうえ壬生町役場消防防災係まで持参するか、郵送してください。

登録申請書は、壬生町役場消防防災係に来ていただくか、又は壬生町ホームページ、(安全安心) 壬生町消防団専用ページからダウンロードできます、

また、登録店の検索は、壬生町ホームページ又は壬生町消防団応援の店で検索できます。

消防団サポート事業（消防団協力事業所）

消防団協力事業所は、消防団活動に協力していただいている事業所で、地域に対する社会貢献及び社会責任を果たしていると認められ、事業所の協力を通じて地域防災体制が一層充実されることを目的とした制度です。

（現在までの登録事業所）45 事業所 （R5.8 現在）

大橋建設（株）	旭化成カラーテック （株） 壬生工場	下野農業協同組合	（有）篠原造園土木
（株）セーフ	戸崎花園	河野邊畳店	（株）TPA
（株）アーレスティ 栃木	（株）足利銀行 壬生支店	日産自動車（株） 栃木工場	（株）SUBARU 航空宇宙カンパニー
（株）鈴木造園土木	（株）ジョイフル本田 宇都宮店	社会福祉法人 星風会	GKNドライブライン ジャパン（株）
獨協医科大学	ビー・ブラウンエース クラブ（株）	大垣農園	橋本さく泉（有）
（有）阿彦板金工業	（株）アドジャパン	クレハ合繊（株）	（株）ムトウユニパック 栃木工場
レンタ建機（有）	株式会社 水井	株式会社 まるつね	あいケアステーション 六美
（有）角田金型製作所	住化プラスチック 株式会社 栃木工場	有限会社 和光工業	大関工業
株式会社 改伸工業 栃木工場	北関東総合警備保障 株式会社	社会福祉法人 壬生町社会福祉協議会	株式会社 北 研
吉葉農園	株式会社 アクトリー	社会福祉法人 せせらぎ会	セントラル石油瓦斯 株式会社 壬生営業所
有限会社 山川建設	有限会社 町田建設	大淵工業 株式会社	藤工業 有限会社
稲葉建設 株式会社			

（登録方法）

壬生町消防団サポート事業所登録申請書に、必要事項をご記入のうえ壬生町役場消防防災係まで持参するか、郵送してください。

登録申請書は、壬生町役場消防防災係に来ていただくか、又は壬生町ホームページ、（安全安心）壬生町消防団専用ページからダウンロードできます、

また、登録事業所の検索は、壬生町ホームページ又は壬生町消防団協力事業所で検索できます。

壬生町消防団員募集

☆壬生町消防団について☆

！自分の仕事を持ちながらも、災害に立ち向かう、史上最強のボランティア集団です！
壬生・稲葉・犬飼地区ごとに第1・第2・第3分団、さらに各分団は地域ごとに5部にわかれ、総員数203名3分団15部の構成となっています。構成・各部についての詳細は壬生町消防団HPで！

また、消防団入団については、常時受付しています。詳細は壬生町役場総務課消防防災係までご連絡してください。

☆消防団の主な活動について☆

- ① 火災・災害対応 町内における火災や風水害等による災害時に出動します。
- ② 訓練・点検 災害対応訓練や消防ポンプの訓練や消防点検があります。
- ③ 警備・広報 火災予防広報や地域の行事における防火警備等があります。

※その他、各部毎に月2～3回程度、消防車・水利等の点検があります。

☆報酬・福利厚生について☆

- ◎団員報酬（年額） 部長 100,000 円／班長 80,000 円／団員 65,000 円
- ◎出動報酬（1回につき） 1,500 円（1回の出動が4時間まで）
3,000 円（1回の出動が4時間～7時間45分まで）
8,000 円（1回の出動が7時間45分～）
- ◎消防個人年金制度 団員の方だけが入ることのできる個人年金で、退団後も継続可能。
- ◎消防賞じゅつ金制度 消防業務時、死亡又は障害の状態になった場合、賞じゅつ金が授与される。
- ◎消防団員福祉共済制度 災害現場へ出場途中又は、訓練中の不慮の事故の場合支給される。
- ◎消防団応援の店制度 町内の消防団応援の店において、様々なサービスが受けられる。

お問い合わせ先

〒321-0292

壬生町大字壬生甲 3841 番地 1

壬生町役場総務課消防防災係

TEL 0282-81-1808

FAX 0282-82-8262